

第4学年 道徳科学習指導案

日 時 平成29年9月28日(木) 6校時

児 童 4年2組 男15名 女18名 計33名

指導者 黒渕 貴典

- 1 主題名 健全な生活態度 (A 節度, 節制)
- 2 教材名 「目ざまし時計」(出典 東京書籍 ゆたかな心で 4年)

3 主題について

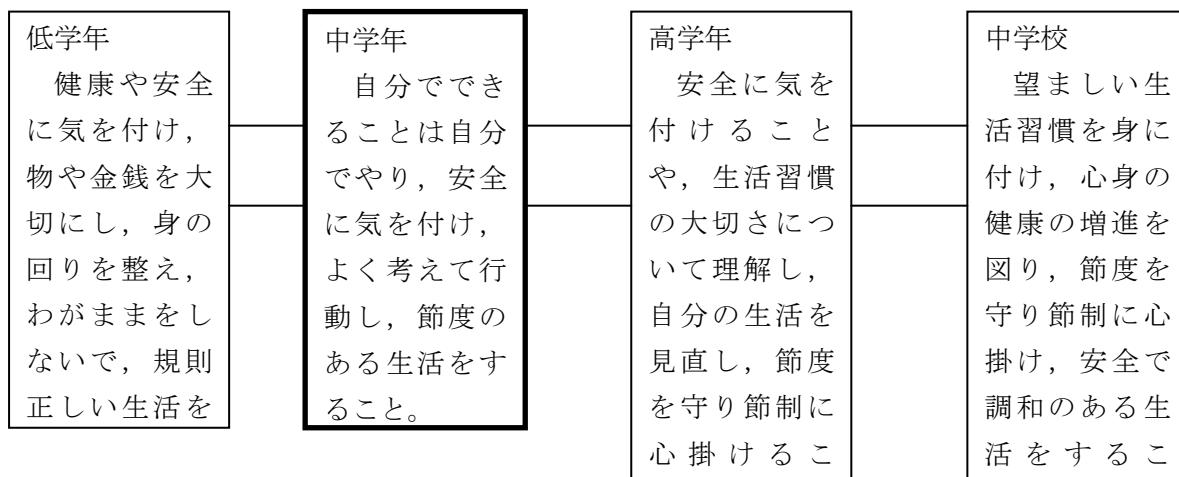
(1) 児童について

明るく元気な児童が多い。学習の様子を見ていると、自分の考えを進んで発表したり、友達の考えをしっかりと聞こうとしたりする児童が多くなってきた。また、ほとんどの児童が、授業時間と休み時間を区切ることができ、節度のある学校生活を送ることができるようになってきた。しかし、日常生活では、好きなことを優先してしまい、やらなくてはいけないことがわかっているにもかかわらず「あとでやろう。」という様子が見られる。また、家庭での生活では、ゲームを長時間行ってしまったり、夜遅くまでテレビを見てしまったりして、節度を守って生活しているとは言い難い状態である。けじめのある生活は大事だと感じてはいるものの、その場の雰囲気流されてだらだらと生活してしまう児童も少なくない。

道徳の授業では、ペアやグループでの学び合いの場面で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができるようになってきた。また、友達の考えを聞いて共感したり、自分とは違う考えを感じたりして、友達から学ぼうとする姿も見られるようになってきた。

(2) 価値について

中学年の内容項目A-(3)は、「自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活を送ること」である。これは、健康や安全に気を付け自立した生活ができるようになるための基本的な生活習慣を身に付けること、節度をもって節制を心掛けた生活を送ることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように展開していく。



この内容項目には二つの要点が含まれている。一つは、基本的な生活習慣に関わることである。基本的な生活習慣は、人間として最も基礎的かつ日常的な行動の在り方であると言われている。それらは、人の生涯にわたってあらゆる行為の基盤となり、充実した生活を送る上で欠くことのできないものとなる。

二つめは、進んで自分の生活を見直し、自分の置かれた状況について思慮深く考えながら自らを節制し、程よい生活をしていくことである。自己の確立にとって、自分を客観的に見つめ、自分の現状を内省することは不可欠な要素である。また、このことは、自分や他の人の快適な生活を守ることにも大いにつながっていることを自覚させる必要がある。

(3) 資料について

主人公のよし子は、進級祝いにもらった目覚まし時計をきっかけに「生活のきまり」をつくり、守ろうと努めている。ところが徐々に守れなくなり、とうとうある日、寝不足から全校朝会の時に気分が悪くなってしまうという内容である。

よし子の言動を追いながら、保健室のベッドに横たわるよし子の心情に視点を当て、時間を守ることや節度のある生活をする事等の大切さについて深く考えることができる資料である。

(4) 指導にあたって

導入では、事前に行ったアンケートをもとに、家庭生活の場面でのきまりやその取組みの様子について発表させ、さらに充実した生活を送るために自分の生活を見つめ直し、考えていこうとする気持ちをもたせる。

展開では、保健室のベッドで、よし子は、目をつむってどんなことを考えていたのかを考えさせ、自分の考えをペアや全体で交流する場面を設定する。

終末では、これまでの自分の生活を振り返り、今後、日常生活で大切にしていきたいこと等を考えさせるとともに、本時の学習で学んだことをまとめていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

規則正しい生活をしようとする気持ちを育てる。

(2) 研究内容に関わる手立てについて

【研究内容1】・・・言語活動を充実させる単元構想

・「2（4）指導にあたって」を参照

【研究内容2】・・・思いをもって伝え合う言語活動

・よし子の気持ちを想像するためのワークシートの工夫をする。

・保健室のベッドで目をつむっているよし子の気持ちについて交流し、考えを深めるための話し合いの場を設定する。【言語活動1】

【研究内容3】・・・高まりを自覚させる振り返り

・これからの家庭生活で実践していきたいことについて考えをもつことができるように、振り返りカードを活用する。

(3) 展開

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 毎日の生活の中で、守ろうと決めたままりを発表する。</p> <p>○家庭生活で、自分で守ろうと決めたままりはありますか。どんなきまりですか。</p> <p>○自分の取り組み方はどうですか。</p> <p>2 テーマを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">自分の生活を考えてみよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをする時間を、1日1時間と決めた。 ・決めたことを忘れて、ゲームをやり続ける時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートをとり実態をつかんでおく。 ・簡単なきまりや、家族との約束などを発表して、毎日の生活における節度に意識を向けるようにする。 ・本時のねらいを明確に話す。
展開	<p>3 「目ざまし時計」を読み、自分できめたきまりについて話し合う。</p> <p>○よし子は、どうして「わたしのきまり」をつくる気持ちになったのでしょうか。</p> <p>○よし子は、最初どんな気持ちで「わたしのきまり」を守っていたのでしょうか。</p> <p>○しばらくして、寝る時間や勉強の時間が守れなくなったよし子について、どう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生になって、なにか頑張ろうと思ったから。 ・時計をもらってうきうきしていたから。 ・自分で決めたことだから、絶対守る。 ・4年生に進級したんだし、頑張らなければ。 ・お母さんがほめてくれるのでうれしい。 ・自分で決めたことだから、守るべきだ。 ・守れなくなったのは、よくない。 ・自分に言い訳をしているうちに守れなくなった。 ・楽しい番組があるとどうしても見たくなくなってしまいうから仕方がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生になって張り切っていることや、気に入った時計をもらってうれしいことなどで気分が高まっていることを、自分の体験と重ねることで共感的に理解できるようにする。 ・最初は、自分で決めた時間を守ろうと、意欲的であったことを感じ取るようにする。 ・自分の生活経験を振り返らせたり、自分だったらどのような言動をとったりするか等を考えさせながら多様な考えを引き出し、よし子の心の弱さに気付かせる。

35分	<p>◎保健室のベッドで、よし子は、目をつむってどんなことを考えていたでしょうか。</p> <p>4 自分の生活について考える。 ○これから、どのように取り組んでいきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり寝る時間を守ればよかった。 ・だんだんと時間を守れなくなってきたのは、自分の気持ちが弱いせいだな。 ・時間を大切にする。 ・はじめをつけたり切りかえたりして、規則正しい生活をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書くことでよし子の思いを感じとることができるようにする。 ・グループ内でそれぞれが感じたことを話し合い、よし子の気持ちについて全体で考えを深めさせる。 <p>【言語活動1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でつくったきまりが守れなかったことの反省を通して、家庭や学校生活を送る上で、規則正しい生活をしようとする気持ちをもたせるようにする。
終末 5分	<p>5 今日の学習について振り返る。 ○今日の学習を振り返って書きましよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことや頑張ったこと、友達から学んだこと等を書かせる。

(4) 板書計画

きそく正しい生活をするために・・・

はじめ

きりかえ

時間を大切

挿 絵

挿 絵

挿 絵

課題 自分の生活を考えよう

目ざまし時計

○時間を守ればよかった。

○言いわけだった。

○自分の気持ちが弱い。

・守るべきだ

・自分に甘い

・心を強く

・遊びたい

・見たい

・我慢できない

○自分できめたこと。

○ぜったい守る。

○四年生に進級したんだ。

○お母さんがほめてくれる。